不退転
東江中学校
第54号
校長　久高利美子

二学期終業式　学年代表挨拶

〈学年代表　川門優奈さん〉

私はこの二学期から副学級長になりました。学級長の補佐をしながら自分に何ができるか考えていましたが、合唱コンクールでの経験が私を成長させてくれたと思います。私は合唱コンクール指揮者をしました。日々の練習の中でみんなの声や息が全然合わなくて、どうしたらまとまるのかと心の中でずっと不安に思っていました。でも、練習を積み重ねていくごとにまとまっていき、私はみんなの心を一つにできたことが私を成長させてくれたいい経験となりました。また、校外学習では、愛楽園でハンセン病を通して人権について学びました。そこで私が学んだことは、人を見た目では判断しないで、相手を思いやる心が大切だということです。

課題として友達に暴言を吐いたり、友達の嫌なところにだけ目がいったりすると言う事があります。しかし、思いやりの心を1学年全員が少しずつ意識して持てばその課題がクリアできると思います。1学年の皆さん人権学習で学んだことを忘れず、思いやりの心を持って行動していきましょう。このように学校での勉強も大切ですが、学校行事や校外学習などで学ぶことや気づかされることがたくさんあります。一日一日を大切に過ごしていきましょう。短い三学期ですが、勉強や部活そして学校行事も積極的に取り組んで行きましょう。

〈二学年代表　宮城悠さん〉

みなさん、部活や勉強など充実した日々を送ることができましたか。今日で二学期も終わります。次の学年に向けて心の準備をしていきましょう。私達二年生の二学期の反省は、授業と休み時間のけじめ、場に適していない声の大きさなど反省点が多くありました。しっかり各学級で話し合い、改善していきたいと思います。二学期は合唱コンクールや地区陸上、地区駅伝などがありました。合唱コンクールでは一人一人一生懸命歌い、学級の団結を高めることができました。地区陸上では、男子が6位、女子が7位、総合6位と昨年より良い結果を残すことができました。学習面では、みんなできき合い、支え合い、グループ内で良い学び合いをする事ができました。

最後に私達が心待ちにしている修学旅行が一月にあります。その取り組みがもう始まっているのでみんなで力を合わせて楽しい修学旅行にしていきたいと思います。また、三学期は三年生に進級するための準備の学期だと言われます。三年生から受け継いだ部活動、生徒会活動など先輩たちが築いてきた伝統をくずすことなく、今以上によい学校にしていくためにみんなで力を合わせて頑張っていきましょう。

〈3学年代表　吉元優志〉

2学期は、久志駅伝大会、地区陸上大会、合唱コンクールなどがあり、3年生一人一人が最上級生として自覚とリーダーシップを発揮して取り組むことができました。特に最後の合唱コンクールでは、練習を重ねる打ちに、学級が一つにまとまり、本番では3年生全クラスが金賞をとることができ、良い思い出と自身になりました。学習面では、受検への意識が高まってきて、授業での学び合いが活発になりました。その成果でテスト結果や成績が一学期より上がった生徒が多くいました。しかし、まだ授業に集中できない人や居眠りをする人がいます。学級の仲間を誰も一人にしないという気持ちで、声をかけ、やる気スイッチを入れてあげたいです。卒業まで約八十日です。中学校生活も残すのは三学期のみです。私達3年生は、三学期をどのように過ごすのか一・二年生にどう良い影響を残すのか、3年生全員が自分の希望する進路に進めるように、励まし合い、支え合い、学び合いで「受検」という人生最初の試練を乗り越え、有終の美を飾りたいです。3年生の皆さん冬休みは、遊びやゲームを我慢して受検対策を頑張りましょう。

「赤い羽根共同募金」についての報告　　生徒会執行部

全校生徒での目標金額40,000円に対し、43,116円の募金が集まりました。そのお金に先生方からの募金も加え、62,614円を社会福祉協議会へ届けてきました。このお金は地域をよくするための募金で、お年寄りや障害のある人だけでなく、助けが必要な人たちのために役立てられます。災害時にはボランティアセンターの運営にも使われるそうです。執行部にとっては最後の仕事ということでき合いも入っていました。しかし、全校生徒の理解や参加を求めること、人の心を動かすことの難しさを改めて実感し、反省しました。東江中生徒会では多くのボランティア活動はしていません。ですから赤い羽根共同募金だけは毎年参加するようにしています。これは誰でも気軽に参加できるボランティアだと考えているからです。みなさんご協力ありがとうございました。